

平成 29 年度第 1 回磐田市旧見付学校協議会報告

日 時 平成 29 年 7 月 27 日（木）午前 10 時～12 時

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

出席者 虫生委員、廣田委員、兼子委員、大橋委員、松本委員、高橋委員、清水委員、鈴木委員
村松教育長、秋野教育部長、高梨文化財課長、村松課長補佐、高畑副主任、平野囑託

1 委嘱状交付

2 委員紹介

3 教育長あいさつ

4 会長・副会長選出 会長：虫生委員 副会長：大橋委員

5 会長・副会長あいさつ

6 議 事

(1) 平成 28 年度事業報告について

事務局より説明

入館者数、企画展「磐田の中等教育～市内の高等学校 5 校の足跡をたどる～」、昔の授業体験、
勉強会「旧見付学校を知ろう」、消防訓練、旧見付学校ボランティア、その他 について

(2) 平成 29 年度事業計画について

事務局より説明

企画展「新制中学校 70 年の歴史～磐田市内の中学校の誕生から現代まで～」、昔の授業体験、
勉強会「旧見付学校を知ろう」、消防訓練、旧見付学校ボランティア、その他について

〔質疑〕

(委員)

今後の提案として、例えば見付学校検定試験に合格したらガイドの資格がとれて、他の地域から来た子どもたちに紹介する活動ができるなど、検定試験や認定制度はどうか。また、夏休みの自由研究に活用できるようなイベントを開催するのはどうか。いわた大祭りや磐田歴史かるた等とコラボしたら、一層楽しみが増えるのではないかと。

(事務局)

現在、文化財課で、缶バッジや絵はがきをもらえるというスタンプラリーを開催中です。旧見付学校だけでこのようなイベントを開催するのは難しいので、市の文化財全体通じて開催すれば、いろいろと興味をもっていただけるのではないかと思います。

(事務局)

今、検定等がブームのようです。見付学校でも見付学校クイズを実施していますので、その質問集と回答集が作成できるようであれば、今後検討していくことは可能であると思います。いわた大祭り等の見付の行事とのコラボについては、良いものがあればコラボしていければと思います。

(委員)

昨年度、監視カメラを1台設置したということだが、防犯の抑止効果は重要だと思う。あれだけの建物で1台では足りないのではないか。

(事務局)

監視カメラについては、表側に1台、裏側にはダミーをつけてあります。あとはカメラ作動中というシールなどを扉に貼って抑止効果を高めています。危険と思われる箇所には設置するよう引き続き予算計上していきたいと思います。

(委員)

抑止効果につながるような方策は必要だと思う。ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

景観等考慮しながら、看板やダミーの設置等、積極的に検討していきたいと思います。

(事務局)

閉館時、錠はしていませんが、かんぬきだけをやるようにして外の扉を閉めています。施設内については、私がきて4年、今まで展示物が紛失したことは一度もありません。来館者も歴史に興味を持って真剣に見学してくれている。ありがたいことだと思います。建物も大事なものです。今後も安全のためにいろいろ考えていきたいと思います。また、馬場町の方々も散歩等で見付学校をよく見ていてくれて、声をかけてくれるので助かっています。

(会長)

磐田文庫の安全対策はどうか。

(事務局)

ダミーのカメラがついています。

(会長)

今までいたずらされた事例はあるのか。

(事務局)

過去に子どもたちが荒れている時代には、卵をぶついたりということがあったようですが、今まで物を壊されたりしたことはないです。

(委員)

企画展も非常に良くなっている。昔の授業体験も非常に良い。あらゆる点が良くなっている。しかし入館者数がそれに伴っているかという点と必ずしもそうではない。見付宿を中心としてPRする

など、観光マップを充実させて、市内だけでなく、県内県外の人たちにアピールすべきではないか。入館者を増やすためにはそういう方法もとりにいれていかなければいけないのではないか。

(事務局)

文化財課、商工観光課、観光協会で各種パンフレットを作成しています。文化財課では地域ごとに、「ふるさと散歩」というマップを作成しています。他にも数種類パンフレットがありますので、ご意見いただいたように、もう少し写真等をたくさん使用し、集客できるような形にしていければと思っています。

(委員)

パンフレットはどこにおいてあるのか。誰もがいつでも手にとりやすい場所にあるといい。

(事務局)

支所や文化財課等の市の行政機関だけでなく、観光案内所、ららぽーと内の情報館等においてあります。この「ふるさと散歩」は市内を9地区に分けて、文化財の視点で作成したものです。これとは別に、観光協会で作成しているもう少しコンパクトなまちあるきマップも同じようにおいてありますので、目的によって取捨選択して活用していただいていると認識しています。

(事務局)

今はこういう紙面ではなくウェブなどインターネットを介してのガイドブック等を使用する方がいます。今後いろいろ検討させていただきたいと思います。

(委員)

私が1番感じているのは、豊川の国分寺、まつりもあり、会館もあり、駐車場もあり、三河のほうは何にしても非常に完備している。磐田の国分寺といえば目玉がない。国分寺は非常に貴重な資産。それをあまり活用されていないのが現状だと思う。

(教育長)

先日、豊川市で三遠南信教育サミットが行われました。豊川市のパンフレット、それから長野県のパンフレットもありました。その中で下條村、人口3000人くらいだと聞きましたが、パンフレットもみせてもらったら、やっぱり見せ方が違います。なんとか宣伝しようという勢いがあります。トータルで見せ方を考えていかなければいけない。他の市町のパンフレットを参考にしながら、磐田市全体で検討していく必要があると思います。

(会長)

旧見付学校ボランティアと観光ボランティアの関係性は。

(事務局)

観光ボランティアと旧見付学校ボランティアは一部重なっています。旧赤松家ボランティアと重なっている方もいます。勉強会「旧見付学校を知ろう」で、できるだけ一般の方や観光ボランティアも引き入れて、ボランティアの養成をはかっていきたいと思っています。